

第18回 人権ショートレター 入賞作品 発表



人間らしく生きること、差別や偏見に対して感じたこと、お互いの個性を認め合うことなど、「人権」を大切にする気持ちを手紙に…。全国から1,685通の応募がありました。入賞作品を紹介します。

人権施策推進課(内線334)

小・中学生の部

高校・一般の部

最優秀賞 「相手の気持ちを考えて」

ひとことの悪口、1回の無視…。あなたにとっては『たった』1回のこと。でも、相手にとっては『ずっと』消えない深い心の傷になる。今、自分の行動をふり返ってみよう。相手の気持ちを考えて行動していましたか？

優秀賞 「命に感謝する大切さ」

「生まれてきてくれてありがとう。」嬉しくて、心に花が咲いたような気持ちになる言葉だ。命に感謝することができたら、争いや悲しい事件などなくなると思う。世界中の人達の心にありがとうの花が咲きますように。

優秀賞 「顔が見えないからって…」

最近インターネットでの誹謗中傷がよく見られる。顔が見えないからって人として言うてはいけないことを言う。言うてる人達は言われた人の気持ちなんて知らない。そんな世界を無くしていきたい。

優秀賞 「君の味方になりたい」

君の味方になりたい。君が悩んでいるとき、困っているとき、頼れる人になりたい。ぼくに出来ることは何もないかもしれないけど、君に寄り添うことなら出来る。君の心が軽くなるならぼくは君の味方になりたい。

佳作

「変わっていくこと、変わらない絆」
「色々な色」
「人を成長させる言葉」
「見て見ぬふりも、いじめのうち」
「命」

最優秀賞 「君が大事なことを教えてくれた」

障がいがあるかもしれないと知った時、目の前が真っ暗になった。でも成長していく君を見て、あの時感じたことは何だったのかと反省する。思い込みや、知らないこと以上に怖い事はない。それを教えてくれた君に感謝。

優秀賞 「心に傘を」

幼い娘を抱いて病院から飛び出したとたん、土砂降りの雨に襲われた。途方に暮れていたら、見知らぬ女性が傘を傾げてくれた。私も迷わず、困った人の心に傘を傾げてあげられる人になりたい。

優秀賞 「胸を張って」

自閉症の娘と外出すると謝ることが多い。ある日、近所の方に「悪いことなんてしていないのだから、胸を張っていいのよ。」と、言われ涙が出た。自閉症の理解が広まり、こんな人が増えると嬉しい。

優秀賞 「やさしさじゃなかったね」

障がいを持つあなたの子に気を使って、手を貸そうとしました。これくらいできるのよとあなたは笑いました。出来ないと決めつけた私のやさしさこそが差別だったと猛省しました。

佳作

「息子へ」
「みているのは人間」
「座席を譲られて」
「あなたはあなたでいい」
「使えない人なんていない」